新基本計画（原案）の第4章のうち方向性1、方向性4及び方向性5に対する委員からのご意見【第１部会】

第1部会：資料1

No.	原案の記載内容（第4章）						意見及び対案	意見の理由	委員	部会委員	第2部会への意見の再掲	新規意見
1	第4章						部会の構成上、都市政策やまちづくりに関しては第1部会、福祉関連に関しては第2部会の担当となっている。このこと自体は了解できるが、今後は『都市政策と福祉政策の統合』という視点や政策展開が重要であり（たとえば福祉施設や公的住宅を中心部など利便性の高いところに誘導・整備し、自動車交通を抑制して歩行者中心の街にしていくことが、福祉にとってもコミュニティや街づくりの点からも好ましい効果を生むなど）、したがって両部会の議論が縦割り的にならないよう、各々の政策領域の総合化を図っていくことが重要ではないか。		広井委員		○	
2	第4章	全体					これは既にp27で提起されている各方向性とセットで考えなくてはいけないでしょう。そこから繋がる「施策体系（p38）」で提起されている5つの柱は、言えば「私たち市民が生きるための経済的土台が、まずしっかりと前提にある」と考えたいと思います。その社会を構成する市民の労働の確保があり、その現実、現状の分析から、地域経済をいかに活性化していくかが問われてくるのでしょう。 その意味では、柱は「1　生活するための経済的土台の充実」「2　そこで生活する老若男女の社会保障の充実」「3　と同時に現時代を担っている者及び次世代を担う子供たちの教育環境の充実」「4　そのための仕組み・体制の充実」「5　そして上記を充実させるために千葉市が有している自然をいかに活用し、市民としての豊かさを充実させるか」という組み立てにするほうが良いのではないかと考えますが、いかがでしょうか？（これは素人考えですのであくまでも参考意見です）		細谷委員		○	
3	第4章	方向性1	1-3-2	P46			・文言あるいは項目の追加 環境破壊につながる産業廃棄物等の不法投棄の防止に向けた住民意識の向上と監視パトロール体制の拡充	環境の保全・創造についての記述はされているが、一方で破壊につながる事案も跡を絶たない現状であることから、環境破壊につながる不法投棄の防止に関する記載を盛り込んではいかがか。	池田委員	○		
4	第4章	方向性4		P75			・「望ましい都市の姿」に対応する方向性として、「ひと・もの・～まちへ」としているが、「生活基盤の充実したまち」に「ひと・もの・情報がつながる」と、狭く限定する必要は無いのでは。「生活基盤の充実」の大きな概念のなかの一部として「ひと・もの・情報がつながる、生活基盤の充実」があるのでは。 「生活基盤の充実したまちへ」でよいのでは。 ・このままでは、基本方針の1，2は方向性4との関連性が希薄であると思う。		依田委員	○		○
5	第4章	方向性2又は方向性4	2-3-1又は4-1	P58又はP77～79			・文言あるいは項目の追加 DV、ストーカー等の被害者保護の観点から一次居住場所（避難場所）の確保と経済面での就労支援を含めた継続的な支援制度の拡充整備	どちらの項目に盛り込むべきものかは検討を要するが、DV・ストーカー等の被害者の保護に関する施策も喫緊の重要課題であると思われる。	池田委員	○	○	
6	第4章	方向性4	4-1	P77	上から1～2行目		・市民の安全を脅かすものが、「地震、風水害、交通事故、街頭犯罪、消費者被害」として列挙しているが、市民への影響の大きさや重要性など、少し整理したらと思う。 ・直下型地震や風水害の「本市におけるリスクの高まり」とは何かについて、説明がほしい。 ・地震や風水害の原因や被害の内容について記述してほしい。そうでないと施策の展開が課題に対応しているのか理解しにくい。 ・風水害が地球温暖化との関係だけで説明するのは疑問。		依田委員	○		○
7	第4章	方向性4	4-1	P77	上から8行目		「少子高齢社会」の「少子」の説明は無い。		依田委員	○		○
8	第4章	方向性4	4-1-1 4-1-2	P78 P79			「防災体制の充実」「防災対策の推進」は順序が逆では無いでしょうか。		依田委員	○		○

新基本計画（原案）の第4章のうち方向性1、方向性4及び方向性5に対する委員からのご意見【第1部会】

No.	原案の記載内容（第4章）						意見及び対案	意見の理由	委員	部会委員	第2部会への意見の再掲	新規意見
9	第4章	方向性4	4-1-2	P79			「防災対策の推進」のなかで地震対策として、耐震補強だけが取り上げられているように見受けられるが、はたしてそれで良いのか？		依田委員	○		○
10	第4章	方向性4	4-1-2	P79			・文言あるいは項目の追加 集中豪雨等（ゲリラ豪雨）に伴う都市型水害（内水氾濫）や道路冠水、地下道対策の推進	包括して浸水対策と表記されているが、漠然としていることから、例示として具体的な内容等を表記してはいかがか。	池田委員	○		
11	第4章	方向性4	4-1-2	P79	上から3行目	…災害時における交通基盤や市民生活の機能確保を図ります。	大規模災害の備えとして、既存の施設を利用した、飲料水や食糧の備蓄。或いは施設そのものを一時的な避難施設として予め設計思想に取り入れる事や既存の施設の改修・整備（例えば小学校のトイレの大人仕様への改修など）なども長期計画に取り入れたら如何でしょうか。		小河原委員	○		○
12	第4章	方向性4	4-1-4	P79			・文言あるいは項目の追加 歩車道の分離促進による歩行者の安全確保	包括して歩道整備と表記されているが、漠然としていることから、例示として具体的な推進内容を表記してはいかがか。	池田委員	○		
13	第4章	方向性4	4-1-4 (4-3-4でも自転車走行環境の整備が記述されている。)	P79	上から1行目	…歩道整備、自転車走行環境の整備、…	具体的な記述が必要ではないでしょうか。 例えば、自動車・人・自転車を分離させて安全を図る為の「自転車専用レーンの設置」などの具体例を示す事で、何をどう整備しようとしているのかの方向性が明確になる。		小河原委員	○		○
14	第4章	方向性4	4-1-4	P79			「交通安全の推進」は超高齢社会に対応するために行うのでは無いのでは。		依田委員	○		○
15	第4章	方向性4	4-1-5	P79	上から1行目	…防犯カメラの設置支援、…	「防犯カメラの設置支援」で文章を纏めてしまうのではなく、その使用方法や管理方法などについても何らかの考え方を記述すべきではないでしょうか。抑止面のみではなく生活者のプライバシーの面も触れる必要があるものと思われます。		小河原委員	○		○
16	第4章	方向性4	4-2	P81	上から3行目 及び 11行目	「集約型都市構造への転換」 「大規模団地の再生」	集約型都市構造への転換の中に、すべての大規模団地の再生が含まれるかどうか判るような記述をお願いします。	花見川団地は、最寄りの生活機能拠点とかなり離れています。同団地が集約型都市構造からはみ出さないか心配です。	春川委員	○		
17	第4章	方向性4	4-2	P81	下から2行目	「…所期の役割を終えた公共施設等については、財政状況や地域・民間のニーズなどを総合的に踏まえた、より効果的・効率的な活用手法の検討が必要です。」	表現の再検討をお願いします。	所期の役割を終えた施設は廃止すべき場合もあると思います。廃止も活用もともに検討することが判るような表現が必要と思います。	春川委員	○		
18	第4章	方向性4	4-2	P81	下から 8～10行目	「・住宅・住環境については、既存ストックを有効に活用しながら、少子超高齢化社会に対応した、子育て世代や高齢者などが安心して暮らせる良質な住宅・住環境の充実が求められています。」	「・住宅・住環境については、既存ストックを有効に活用しながら、少子超高齢化社会に対応した、子育て世代や高齢者などが安心して暮らせる良質な住宅・住環境の充実が求められて<u>おり、都市施策と福祉施策を一体的に推進する必要があります。</u>」	快適な暮らしの基盤となる住宅・住環境の充実を図るためには、都市施策と福祉施策の一体的な推進が一層重要となっていることから、基本的な考えとして下線部を追加。	宇佐見委員	○		○
19	第4章	方向性4	4-2	P81			本文中段に「多様な主体の連携」が2カ所出てきますが、ここだけが連携すれば良いのか。どこかでまとめて連携の必要性をしっかり記述したらどうか。		依田委員	○		○
20	第4章	方向性4	4-2	P81			些細なことですが、語尾に「必要がある」「求められています」を使用しているが、この区別は？		依田委員	○		○

新基本計画（原案）の第4章のうち方向性1、方向性4及び方向性5に対する委員からのご意見【第1部会】

No.	原案の記載内容（第4章）						意見及び対案	意見の理由	委員	部会委員	第2部会への意見の再掲	新規意見
21	第4章	方向性4	4-2-1 4-2-2	P83			市街地の活性化の為にも、商業者のみならず一般市民（住民）も参画して、多様な視点から検討を行う仕組みを作る事が大切と考えます。「検討を行う仕組みづくり」について何らかの表現で記述して頂きたい。		小河原委員	○		○
22	第4章	方向性4	4-3	P85	上から11行目	「…需要の少ない地域交通については、市民自ら地域交通を支えるという視点から、特に積極的な利用を図るなど、地域住民の主体的な取組みにより路線の維持に努めるとともに、地域・事業者・行政の一層の連携が必要です。」	表現の再検討をお願いします。	今の表現では、利用者の少ないバス路線を地域住民だけで維持させようとするのかどうか判りません。連携の中には財政援助が含まれるのでしょうか？	春川委員	○		
23	第4章	方向性4	4-3	P85			現状と、そうなっている原因の記述が不十分で、課題のみになっているので検討を。		依田委員	○		○
24	第4章	方向性4	4-3-4	P88			タイトルが「・・利便性の向上」では、視点が低いのではないか。「情報ネットワーク社会の推進」の言葉をタイトルに入れてはどうか。 内容の充実も提案します。 例えば ・ ICTによる市民サービスの利便性向上と行政事務の効率化は、分けて それぞれ厚く記述すべきではないか。 ・ 今後更に人手やコストの掛かる福祉・介護サービスでのICT利用を強力に推進する記述。 ・ 市民サービス・システムの開発や改善において、市民と市ICT企業の参加・協働による、システムの提案・実験・評価を推進する記述。	・ この10年 インターネットや携帯電話などICTは常に革新技術であり、今後も大きな力を発揮していくICTの活用を千葉市として強力に推し進めることが大切で、充実した記述は市の魅力や若者を引き付ける意味でも重要ではないでしょうか。 ・ 特に 福祉・介護サービス等で、コストセーブとサービス性、相互連携性を両立させる道具としてもその重要性を言及すべきではないでしょうか。	金谷委員	○		○
25	第4章	方向性5	5-1	P91			現状と課題の指摘した順番と施策の展開の順番との整合をはかってほしい。施策の展開の2項目の都市の「国際性の向上」は現状と課題では最後に記述されている。		依田委員	○		○
26	第4章	方向性5	5-1	P91			「観光の振興」が大きな施策として重要だと思うが、「現状と課題」でははっきり記述されていない。		依田委員	○		○
27	第4章	方向性5	5-1-1	P92	上から1行目	…中央港地区における海を活かしたまちづくり……。	５－２－４で物流・港湾機能の強化を図り……の記述がありますが、その事を進めると同時に今以上に市民が親しむ事が可能となる、いわゆる観光港的な機能の充実を図る事も重要ではないかと思います。一昔前、高知方面への大型フェリーの定期航路があった事を思い出します。		小河原委員	○		○
28	第4章	方向性5	5-1-1	P92			拠点間の連携等に係る項目の追加	現下の厳しい財政状況等を踏まえると、千葉市全体としての都市の魅力を効果的かつ効率的に高めるためには、拠点間の連携や機能・役割分担が重要になってくると考えられ、原案の千葉都心など各々の拠点の取組みだけでは記述が十分ではないと考えます。	宇佐見委員	○		○

新基本計画（原案）の第4章のうち方向性1、方向性4及び方向性5に対する委員からのご意見【第1部会】

No.	原案の記載内容（第4章）						意見及び対案	意見の理由	委員	部会委員	第2部会への意見の再掲	新規意見
29	第4章	方向性5	5-1-1	P92			幕張新都心について、確り記述することを提案します。 例えば ・ 科学技術都市戦略の柱として位置付け、現存のICT企業群や、ベンチャー企業群の集積度を一段と高め、オフィス型産業都市としての魅力を高めていく記述。 ・ 幕張メッセのイベント（国内最大のICT/ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ展、科学機器展、東京ｹﾞｰﾑｼｮｳなど）と、千葉市の企業群、或いは市の観光等との連携を一層深め、相乗的な効果を発揮させていく記述。 集客力の向上と千葉市産業の振興の為に。 ・ 東京から海浜幕張への交通の利便性を向上（昼間の快速の増発など）させ、メッセ・イベント参加や東京へのアクセスの容易性を図る努力をする記述。	・ 幕張新都心の企業群やメッセは、貴重な資産であり、知名度も高い。受け身ではなく、積極的に「都市の魅力を高める」大きな柱とすべきと考えます。企業撤退から誘致へ現況を反転させていく意味でも基本計画に強いメッセージを含める必要。 ・ 研究開発型事業へ時代がシフトしつつあり、その都市（オフィス型事業）モデルとして、大いに推進すべき。 ・ 東京―海浜幕張間を行き来する企業人にとって、昼間は海浜幕張は陸の孤島である。 例えば、現状は、通勤時間帯以外では、ここ10年近く快速は15分に一本であり、京葉線東京駅も不便。 また総武線快速は幕張には停車しない。	金谷委員	○		○
30	第4章	方向性5	5-1-3	P93	上から2行目	「…市民による魅力の再発見を進めます。」	表現の再検討をお願いします。	「市民による・・・を進めます」という言葉からは、行政が市民に魅力再発見作業をさせるような印象を受けます。	春川委員	○		
31	第4章	方向性5	5-2	P95	上から12行目	…個人商店の利用が伸びず、商店街の売り上げは減少し、多くの空き店舗が発生しています。	個人商店や商店街、とりわけ中心市街地の衰退は大きな問題であり、難しいとは思うが、書ければ、その原因をいくつか挙げておいていただきたい。		依田委員	○		○
32	第4章	方向性5	5-2	P95	下から6行目	超高齢社会に対応した商業環境の維持・充実に向けた…	「超高齢化社会に対応」に限定するのはどうか？		依田委員	○		○
33	第4章	方向性5	5-2-1 5-2-2	P96			「ひとが集り、魅力と活力に溢れるまち」を感じさせる、或いは「何かやりそうだ、力が籠っている」と感じさせるような記述を提案します。 例えば、 ① 「産業振興戦略」の内容や狙い、「ビジネス支援センター」の重要な意義、特徴などを明示する。 ② 科学都市戦略は「科学技術都市戦略」として、その意義、内容に言及し研究開発型の都市へ向かう強いメッセージを発する。 ③ 医療・福祉、ICT，環境・エネルギー、高度製造技術など、知識集約の先進技術への強い姿勢を述べる。	「住みたい街」には雇用や収入安定が極めて重要であり、市民の活力と未来を託せる産業や新事業を基本計画として大きく掲げるべきです。 従来型事業や工場がアジアにシフトし雇用吸収力が減少しつつあり、市の活力や市財政の為にも、或いは企業誘致や若者を惹きつける意味でも、充実した記述が必要と思われます。	金谷委員	○		○
34	第4章	方向性5	5-2-1 5-2-2	P96			産業の振興、新事業の創出においても、「市民参加・協働の推進」を推進していくことの記述を提案します。 ・ 幕張新都心の企業交流や科学都市推進、国際企業交流などの活性化に、或いは市政のIT化推進や医療・福祉、更にベンチャーなどへの木目細かな支援に、経験と知見を有した市民の参加や協働を 推進していく記述。 ・ 持てる知識を生かした社会貢献に意欲を持つシニア層やボランティア、NPOなどが、産業振興や新事業創出にも活動していける環境（例えば幕張新都心産業コミュニティ、ICTコミュニティ、医療機器コミュニティなどの産業テーマ別コミュニティ）を推進していく記述。	・ 最大の資産である（ノウハウを有する）市民・人材を大いに活用すべきです。特にシニア層が益々増大していく中で、経済的に安定した経験豊富なシニア層に活躍してもらうべきで、その場があれば貢献を惜しまない方々も多いと思われます。財政制約下にある市職員数は限られており、企業の横断的な活動（幕張新都心など）や、木目細かな視点での活動などでは、市民参加が有力な手段であると考えます。 ・ 経験・ノウハウをボランティア活動にする新潮流プロボノや、ボランティアで成り立っている米国ヒューストン・テクノロジセンター（姉妹都市）など、先駆的な産業振興面での市民参加を、千葉市が推進する意義は大きいと判断します。	金谷委員	○		○
35	第4章	方向性5	5-2-3	P97			「商業・サービス産業の振興」の施策が「商業活動の活性化を促進」では具体的な施策の方向が見えない。		依田委員	○		○
36	第4章	方向性2又は方向性5	2-3-1又は5-2-5	P58又はP97			・文言あるいは項目の追加 経済的困窮を理由とした高齢者による犯罪の防止や刑務所出所者等の再犯防止に向けた、シルバー人材制度の拡充支援や積極的な就労支援制度の創設	どちらの項目に盛り込むべきものかは検討を要するが、現実的には経済的困窮を理由とした高齢者によるいわゆる「万引き」等窃盗事案の増加や刑期を終え出所したものの、就職先もなく経済的に行き詰まった者の再犯率の上昇が大きな社会問題となっているため、同問題を踏まえた施策を盛り込んではいかがか。	池田委員	○	○	